

<福島県知事賞>

社会に役立てる消費税

郡山市立郡山第四中学校 2年 大越 歩実

私たちが普段、買い物をするときには必ず見かけるのが、消費税です。消費の対象となる商品に課せられる消費税について、私は調べたことが二つあります。

一つ目は、消費税そのものについてです。私は、今までただ普通に買い物をしていただけで、消費税について特に考えたり気にしようとはしませんでした。そして時には、消費税は必要なのかと考えてしまうこともあります。だから私は、消費税があることでおこるメリットを調べました。そのメリットは、脱税を防ぐということです。たしかに、所得税であれば収入をごまかすために決められたお金を払わずにいる人が出てきてしまい、脱税になる可能性があります。それに比べて、消費税はお店の商品を購入する時に商品そのもののお金と同時に支払うものであるため、ごまかすことや不正をして支払うお金を納めないということが起きずに、脱税防止の効果が期待されるそうです。

二つ目は、消費税は何に使われているかです。消費税は、社会保障の充実、安定のための財源に充てられることを知りました。たとえば、医療や介護関係であれば、必要な時に必要に応じた医療や介護サービスを受けられる社会にするため、また、保険料の負担を軽減するためなど社会に役立てるために使われるとありました。子育て関係であれば、子供を育てやすい社会にするため、そして、それぞれの地域に合わせた子育てができるようにすることや児童養護施設などに入る児童数を拡大して、家族で安定した環境を創り出すために使われるそうです。その他にもたくさん役立たれていることがあります。消費税は社会がより良くなるようにするために使われていました。

消費税はただ上がっていくもので、あまり良い印象ではないと感じていました。だけど今回調べてみて消費税があることでおこるメリットや防げること、消費税が社会の役に立つということを初めて詳しく知りました。もちろんメリットだけでなく、デ

メリットも出てきます。ただ、自分の思い込みだけで悪いイメージだけでなく、普段目にして生活している消費税に対してプラスの効果もあるということを忘れずに少しでも意識できたらいいと思います。